

令和7年度定期評価結果

地域がん診療連携拠点病院 長野赤十字病院

<良好な事項>

- 薬物療法について
レジメンがエビデンスに基づいた申請・実行が行われており、非常に良好な体制が整えられている。
- 化学療法室の体制について
化学療法室に腫瘍内科医師の常駐体制がとれており、コンサルテーションもしやすく、安全で素晴らしい環境が整えられている。
22床というベッド数で、非常に多くの患者さんを効率的に診ている点が素晴らしい。
- 放射線治療について
高精度の治療がハイレベルに行われている点が素晴らしい。
- 骨転移がんセンターについて
放射線治療、緩和ケア、整形外科など各科が一堂に会して話し合うことのできる骨転移がんセンターを実施していることが素晴らしい。
- がんサポートセンターの体制について
がんサポートセンター、図書館などの雰囲気が温かく、がん患者さん自らが勉強できるような良い場所になっており、色々な方々が携わっていることが非常に素晴らしい。
- 認定資格について
認定資格を持った技師・看護師が多数在籍しており、充実した体制が図られている。

<指定要件に係る事項>

- がん登録室のセキュリティについて
がん登録室のセキュリティについて、部屋の仕切りを作る、当該業務に携わる者のみ出入りできるようにするなど可能な限りの対策を検討いただきたい。

<指定要件を超えて検討を依頼する事項>

- エキスパートパネルの実施について
一つの病院でエキスパートパネルを実施する場合、ディスカッションなど対応が難しい問題が発生する可能性があり、どのような形で外部にコンサルテーションするか、各病院が独立してエキスパートパネルを実施する際の充実した運用体制の構築について長野県全体で検討いただきたい。
- 放射線治療のコンパクト化について
新病院の設立に関して放射線治療のコンパクト化という話があったが、職員の士気が損なわれることのないよう、慎重に御対応いただきたい。
- 重要な面談時における看護師の同席率について
現在も、今後の治療方針を決める際など重要な面談時における看護師の同席率は6割から7割程度と努力されていますが、これを更に高めていけるよう取り組んでいただきたい。

○ 相談支援センターの配置について

現在の相談支援センターの場所が少し分かりづらいところにあるため、新病院建設時には、エントランスに近い場所など誰もが容易にアクセスしやすい場所に配置するよう、御検討いただきたい。